

## 出前授業 実施報告

実施日時：2017年4月1日（土） 14：00 ～ 15：45

出前先：奈良県大和郡山市 九条スポーツ会館運営委員会（10自治会）

受講者：113名

授業題目：九条地域の地盤と自然災害 =災害に備えよう=  
「備えあれば憂いなし」自らの命は自ら守る

講師；菅野 耕三（大阪教育大学名誉教授）

昨年10月2日（日）に奈良県大和郡山市九条が丘自治会で出前授業が催され、九条地域には10自治会があり、地域全体にも、とのことから、実施された。授業は、冒頭寺田寅彦の「災害は忘れたころにやってくる」との紹介と、昨年の熊本地震や鳥取地震時「まさか私たちのところで」という、地元の人たちの話から、そのようなことはなく、日本は今活動期に入ったと言われ、何時、どこ起こってもおかしくないので、「備えてください」という話で始まった。

話の主な項目は

### ○地盤と地震について

- ・地盤工学会の紹介と役割

- ・災害の被害は、地盤に関係する（地盤沈下、液状化、切り土盤と盛り土盤）

沖積層に建つ薬師寺の五重塔・東塔は地盤沈下していた。九条地域の地盤は約100万年前の大阪層群からなり、地盤沈下することはないが、谷地や池を埋め立てたところは、地震時に壊れやすく液状化が起こる可能性がある。

- ・地震には直下型と海溝型がある。直下型は活断層が動くことで起こるが、九条地区の富雄川沿いに活断層がある。また、海溝型は紀伊半島沖合が震源地（東南海・南海地震）であるが、材木町の薬園八幡神社には江戸時代に起こった海溝型の安政の地震で、郡山で200人以上の死者が出たことが書かれた石碑がある。

### ○大雨・豪雨について

- ・最近、時間雨量100mmを超える大雨が発生している。従って、水はマンホールや側溝から来る。道に水が溢れておれば避難しない（行政の避難指示に従うのではなく、自分で判断しよう）。また、アンダーパスには絶対行かない。

○自然災害にどう向き合い、備えるべきか。自助・共助が大切。

